

スポット ニュース

瑞浪超深地層研究所 見学者1万人達成!!

瑞浪超深地層研究所は、平成14年4月の研究所開所以来、平成19年10月28日をもって見学者の累計が1万人に達しました。

1万人目の見学者となったのは、瑞浪市内に住む中学生の高橋誠君。同じ部活動の仲間と今回初めて見学に訪れたという高橋君は、「今まで研究所についてはよく知らなかったが、これから学んでいきたい。」と笑顔で話してくれました。

瑞浪超深地層研究所では、実際に地下の世界を体験していただく施設見学会を、月に一度開催しています。皆様お誘い合わせの上、ご参加ください（見学会の詳細は裏面をご覧ください）。



1万人達成記念写真

来月の主な作業予定 (12月)

【瑞浪超深地層研究所】

- ① 深度100m、200mの予備ステージでの水平ボーリング孔を用いた地下水の観測
- ② 水理調査ボーリングにおける地下水の水圧測定
- ③ 既存ボーリング孔(MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、05ME06号孔)での水圧などの長期観測
- ④ 排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ⑤ 狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑥ 研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑦ 表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測など）
- ⑧ 名古屋大学との共同研究（ひずみ計等の設置）
- ⑨ 東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜等の長期観測

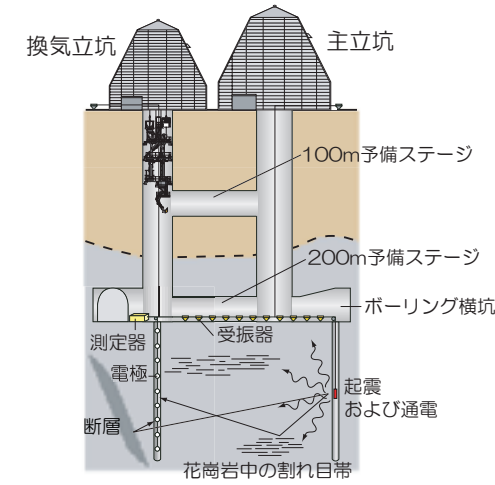
【正馬様用地】

- ① 既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

ボーリング孔間を利用したトモグラフィ探査

瑞浪超深地層研究所では、右の図のように、深度200m地点の2本のボーリング孔を利用して、二つの立坑の間の岩盤の様子を調べる「トモグラフィ探査」を行いました。

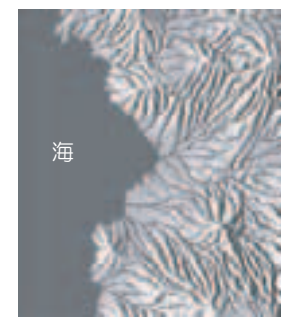
この研究は、片方のボーリング孔内から人工的な振動（または電気）を送り、もう片方のボーリング孔内や予備ステージ、ボーリング横坑に設置した受振器（または電極）で振動（または電位）を測定することで岩盤の様子を調べる研究です。



地形変化のシミュレーション技術

東濃地科学センターでは、隆起※や侵食※、気候や海面の変化などの自然現象によって引き起こされる地形変化の過程をコンピュータ上で再現する技術開発に取り組んでいます。

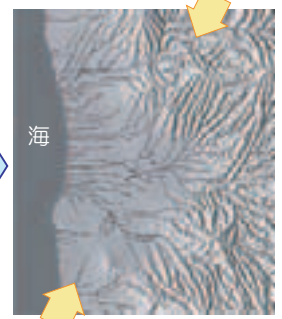
このシミュレーション技術を用いることにより将来の地形変化の予測が可能となりますが、現実に即した地形変化の予測を可能とするため、東濃地域を始め各地のこれまでの地形変化の情報を事例として用い、技術開発を進めています。



【初期状態】
（海面が高い時期）



【想定】
・1500年に1回の断層の活動
・1000年に1mの隆起※



【約3万年後】
（海面が低下し、断層が活動した場合の地形）

山地の侵食が進み、海岸沿いの低地が拡大する。断層の位置（矢印）で河川の折れ曲がりや水系の異常（断層に沿った谷）が生じる。

※隆起（地層が広い範囲にわたって盛り上がること）
※侵食（地層が雨や風、雪などによって削られること）



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-Mail】tono-ck@jaea.go.jp
 【東濃地科学センターホームページ】: <http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>

東濃地科学センター 地域交流課（栢, 川瀬, 木内, 福島）

瑞浪超深地層研究所を見てみませんか？

瑞浪超深地層研究所の地下を体験する見学会を下記のとおり開催いたします。希望される方は事前申込が必要となりますので、12月13日（木）までに住所、氏名、電話番号をお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、見学会は今後も毎月開催する予定です。

【開催日時】平成19年12月16日（日）9:30～11:30

【対象】小学校4年生以上

（工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者の同行をお願いしております。ご協力をお願いいたします）

【申込み先】地層研ニュース表面の連絡先へお願いいたします。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は見学会の目的以外には使用いたしません。

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリー展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「瑞光会 油絵展」（仮称）の作品を展示いたします。是非、交流館へ足をお運びください。

また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですのでお気軽にお問合せください。

【期間】12月20日（木）～1月31日（木） 10:00～21:00

【場所】瑞浪市明世町山野内字大狭間36-8（入場無料）

【休館日】毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日でも休館）

《展示に関するお問合せ先》

地層研ニュース表面の連絡先へ電話またはFAX、メールでお問合せください。

パソコン教習コーナーのご案内

瑞浪超深地層研究所では、パソコン教習コーナーを下記のとおり開催しております。参加希望の方は、日時、人数、お名前を地域交流課までお知らせください。なお、都合により日時の変更をお願いすることがありますのでご承知おきください。

【期間】平成20年3月までの平日（9:00～17:00）

【場所】瑞浪超深地層研究所 管理棟 展示スペース

【内容】パソコンの基本操作（1～2時間程度を予定）

【申込先】地層研ニュース表面の連絡先へ電話またはFAX、メールでお問合せください。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は見学会の目的以外には使用いたしません。

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果（平成19年10月分）

【採取日】平成19年10月2日

単位：mg/l（水素イオン濃度はpH）

測定項目	管理目標値	工事排水	狭間川下流	※1	※2	※3	※3
				立坑の湧水	狭間川上流	掘削土の溶出量（主立坑）	掘削土の溶出量（換立坑）
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.3	7.3	9.8	7.2		
浮遊物質量	25以下	2	8		4		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
有機磷化合物	検出されないこと	検出されず					
有機磷	検出されないこと						
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満		
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
トリクロロフルン	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		
テトラクロロフルン	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満		
ジクロロメタン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満		
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満		
1,1-ジクロロフルン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		
ジ-1,2-ジクロロフルン	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満		
1,3-ジクロロベンゼン	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満		
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満		
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満		
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.5	0.4	0.07	0.3		
ふっ素	0.8以下	0.4	0.1	9.3	0.1未満		
ほう素	1以下	0.44	0.04	1.2	0.02未満		
塩化物イオン	—			140			
アモニア、アミン化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.48					

10月は主立坑の掘削作業を行っていないため測定はありません

10月は換気立坑の掘削作業を行っていないため測定はありません

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は排水が流れない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※3 溶出量は水の中に溶け出した物質の量のことです。
 ※4 空間放射線線量は管理の対象となりますが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
 ※5 3ヶ月の集積空間放射線線量は3ヶ月間の空間における放射線の量を1時間あたりで表した値。
 ※6 参考値

【測定期間】：9月28日～12月下旬

	参考値	測定結果
花木の森散策路における空間放射線線量率	測定中 周辺地域の空間放射線線量率と同等 ※5	測定中 3ヶ月の集積空間放射線線量率 ※6 から算出